

次の問題文と示されたメモ用紙の内容を参考にして設問に答えなさい。ただし、設問には問題文（メモ用紙の内容を含む）と各設問のみに基づいて推論し答えること。

### 【問題文】

ある大学の大学祭の約1ヶ月前に、大学祭実行委員会の学生数人と学生部担当教員が、お笑い芸人出演イベントについて協議をしている。

この大学は、地方の小都市にある学生数500人の大学である。地域では少子高齢化が顕著である。とくに地域住民の18歳以上の人口が進学などによる地域外への流出のために少なくなる傾向がある。

この大学では、毎年5月中旬の土曜日と日曜日の2日間にわたって大学祭を開催している。大学祭は、学生自治会から選ばれた実行委員会の学生たちによって、企画され運営されている。大学祭では、模擬店・バザー、学生によるイベント、地域の方々の参加イベント、各種展示などのほかに、お笑い芸人出演イベントを開催している。

お笑い芸人出演イベントは、大学祭のおよそ半年前に、芸能プロダクションからの推薦によって、予算に見合ったお笑い芸人と出演契約をしている。学生たちは、「契約時にはまだあまり売れていなくて、契約後、半年のあいだに人気が出てくるお笑い芸人さんと契約するのが成功の秘訣だ」と、先輩から引き継いでいる。そこで、今年はデビュー間もない一組の若手お笑い芸人（カストル&ポルクス）を呼ぶようにプロダクションと契約をした。

お笑い芸人出演イベントのチケットの売上があまりにも悪いと大学祭の予算が厳しくなる。お笑い芸人出演イベントは土曜日午後1回開催し、会場は体育館（座席数は最大500席）である。観客が多い場合には、当日券を買えない人が大量に出るトラブルを避けるため、大講義室（250席）に大画面のライブ中継を実施し、300円の当日割引券を販売しようと計画している。そのためには、機材やスタッフの準備などのために少なくとも1週間程度前には、ライブ中継を実施するかどうかを決めておく必要がある。会場定員を超過した場合のライブ中継の可能性については、お笑い芸人の所属するプロダクションの許可を得ている。その他、おもに当日券の整理券を配布するための人員増員、会場整理のためのガードマン増員も手配する必要がある。

大学祭実行委員会の学生数人と学生部担当教員は、お笑い芸人出演イベントの観客数の予想と広報の方法を考えるため、判断の材料となりそうな情報を考えつくままメモ用紙に書いてホワイトボードに貼り付けた。

3ページから5ページがそのメモ用紙である。

## 【設問】

### ◎解答上の注意

- ・ 解答は指定された欄内に記入し、欄外に書いてはいけない。ただし、記述の分量は採点の対象としない。
- ・ 必要があれば、解答には根拠となるメモの番号をつけてもよい。

### 問1

この大学における今年のお笑い芸人出演イベントの観客数の増減に係る要因は、①ほとんど変わらない要因、②状況によって変化する要因の2種類に分類できる。問題文（メモ用紙の内容を含む）より、①ほとんど変わらない要因から2つ、②状況によって変化する要因から2つ選び、それぞれの理由を説明せよ。ただし、複数のメモを総合的に判断して要因を記述することは差し支えないが、1つのメモにまとめられている内容を複数の要因に分割しないこと。なお、ほとんど変わらない要因とは、変化させても観客動員数に影響しない要因と変化させることができない要因の両方を含む。

### 問2

昨年のお笑い芸人出演イベントの観客数、過去の経験および現在までの状況、ならびに他大学の経験をもとに、カストル&ポルックスが「お笑いグランプリ」に上位入賞をはたした場合とはたさなかった場合の今年の観客数を予想し、予想した理由をそれぞれ説明しなさい。ただし、大学祭の2週間前に宣伝カーを2回走らせ、加えて地元ケーブルテレビによる広報も1週間前から毎日実施したものと仮定し、大学祭当日は雨が降らなかったものとする。

---

### ◎備考

- ・ SNSは、インターネット上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスやウェブサイトのことである。コメントやトラックバックなどのコミュニケーション機能を有しているブログや、電子掲示板も含まれる。
- ・ 問題の内容は全てフィクションである。仮に同名または類似のお笑い芸人が存在した場合でも、問題に出てくる設定は全てフィクションである。

大学祭の集客のため、お笑い芸人出演のイベントを開催している。

毎年、お笑い芸人出演イベントは赤字である。しかし、赤字額が多くなると他のイベントに影響が出るため、赤字額は少なくしたい。

なるべく、会場の収容人数の500人に近い人数を集めたい。

もし、グランプリに上位入賞すると大幅に増える可能性があるため、ライブ中継をして750人まで収容する計画を立てている。ライブ中継は設備や会場警備を追加するため、経費が増加するのであまり望ましくない。

メモ1

ポスターは、毎年ほぼ同じ枚数を印刷しほぼ同じ場所に掲示している。これ以上、ポスターによる広報を強化することは、予算や人員の制約により事実上難しい。

地元ケーブルテレビを使った宣伝をしたことがある。

メモ2

昨年の来場者全員に実施したアンケート調査から観客を分類すると、学生が40%程度、当日訪れた学生の家族や卒業生と大学のある地域の芸人の熱烈なファン（いわゆる“おっかけ”）が20%程度と考えられる。ただし、チケットは、これから売り上げのピークを迎えること、毎年、当日券が結構売れるので、観客数には不確定な要素が多い。

メモ3

以前、有名芸人だったので特に広報をしなかったら200人ほどしか集まらず、当日に学内を駆け回って人を集めたことがある。広報は必要だ。しかし、広報をしすぎると人が会場からあふれる。

メモ4

模擬店で食品を出すため、大学祭の2週間くらい前に保健所に臨時営業許可申請をする必要がある。そのため、申請までに模擬店を出す団体にメニューを出すように連絡しなければならない。

メモ5

観客数には、大学からの情報発信等の広報が関係している。

過去には、大学の車を使って市内に宣伝カーを走らせたことや、地元ケーブルテレビを使った宣伝をしたことがある。

過去の経験では、大学祭の2週間前に宣伝カーを走らせると、1回目で20人くらい、2回目で10人くらい地元の観客数が増えた。3回目以降はあまり増えなかったと思う。

以前に地元ケーブルテレビで大学祭の1週間前から毎日宣伝した時は、地元の観客数が40人位増えたと思う。

メモ6

どの客層にもお笑い芸人の人気チケットの売上に関係すると思われる。

大学祭の2週間前に全国的な「お笑いグランプリ」の開催が予定されている。カストル&ポルックスは、予選を勝ち抜いて、本選への出場ができる数百組に入っている。もし、グランプリの獲得や上位入賞があれば、メディアへの露出が増加するので、すべての客層で観客数が増えることが予想される。

これまで、この大学では呼んだお笑い芸人がグランプリ上位入賞者になったことはなかったが、他大学の経験などから、特別な広報活動による増加分も含めてグランプリの獲得や上位入賞があれば、学生の観客はおよそ1.5倍、ファンの観客はおよそ1.1倍、その他の観客はおよそ1.4倍になるという。

メモ7

学生については、学生同士の直接・間接的なコミュニケーションがチケットの売上に重要。クラスに熱的なファンがいると売り上げが増える可能性がある。

メモ8

チケットの値段と売り方は長い間変えていない。今年も変えない。

入場券は当日1000円、前売り800円。

大学では、当日券と前売り券を販売する。

地元の商店とチケット業者（窓口とネット販売）で、前売り券を販売している。

メモ10

毎年お笑い芸人出演イベント当日に同窓会の役員会があって、10数人程度の卒業生の役員のイベントへの出席が予定されている。

メモ11

昨年のお笑い芸人のイベントには、386人の観客があった（報道関係者・警備担当者を除く）。うちお笑い芸人は、学生が154人、その他が232人であった。天気は晴れ時々曇りで、イベント開始時の気温は23°Cであった。

メモ9

大学の規模（学生数など）、大学が設置されている地域の人口、人口の年齢構成、交通の利便性などが観客数予測の基盤になっている。

メモ12

当日の天候もある程度の影響があるだろう。過去の経験から、雨天の場合には、地域からの観客を中心に20%程度は減ると考えられる。

メモ13

メインステージ及び雨天時のステージなどの配置とタイムスケジュールを考えるために、大学祭の1ヶ月前までに学生の部活やクラスの出し物を大まかに決めている。

メモ15

2年前は広報したのに、去年は有名芸人だったのでポスター以外はとくに広報しなかった。もっと広報しておけばよかった。

メモ14

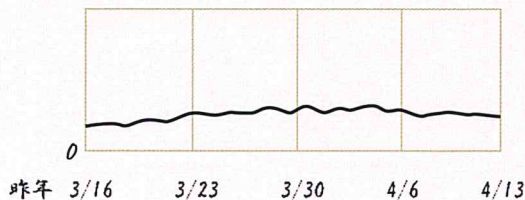
仮設の電源工事をするため、電気を使う模擬店の配置を大学祭の3週間前までに決める。

メモ16

ファンの観客は地域に関係なく、ほぼ全国から集まってくる。  
ファンクラブの人数はネットで確認できる。  
グランプリの受賞がかなり大きく関係する。  
SNSの書き込み数を調べると、全国的な人気の度合いを知ることができる。  
特定のキーワードを含むSNSへの書き込みが、どのように変化しているかを調べることでできるサイトがある。

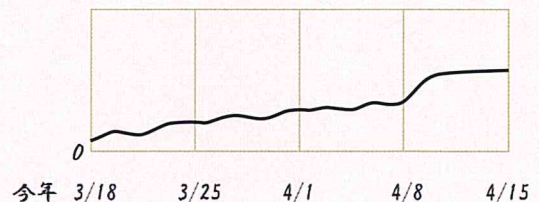
メモ17

昨年のお笑い芸人に関する書き込み数



メモ18

カストル&ポルックスに関する書き込み数



メモ19

#### メモ18と19の説明

あるウェブサイトのSNS書き込み数の変化を示すグラフをもとに作成した手書きのメモである。昨年の同時期と今年のグラフから作成した。縦軸の目盛りが同じグラフをもとに作成した。昨年よりも今年の方が少し人気が出ているという議論があった。